

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

— 評価の観点 —	
思・判	： 社会的な思考・判断
技・表	： 資料活用の技能・表現
知・理	： 社会的事象についての知識・理解

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)		
地理的分野 (1)ア	1	(1)	日本と同じ北緯40°の緯線が通る国を指摘できる。	技・表 知・理	65.0	70.3	
		(2)	六大陸の位置と名称を、世界地図上で理解している。	知・理	65.0	84.3	
	(3)	①	日本とロサンゼルスの時差を指摘できる。	技・表 知・理	65.0	47.2	
		②	時差をもとにロサンゼルスの日時を計算できる。	思・判	25.0	30.1	
地理的分野 (1)イ	2	(1)	地図から、府県名と府県庁所在地名が異なる府県を指摘できる。	技・表 知・理	60.0	31.5	
		(2)	日本海側の気候の特徴を理解し、あてはまる気温図を指摘できる。	知・理 技・表	55.0	40.0	
地理的分野 (2)イ	3	(1)	青森県のおもな発電所の立地を理解している。	技・表	60.0	45.0	
		(2)	長所	選択した発電方法の長所を指摘できる。	思・判 技・表	55.0	54.4
			短所	選択した発電方法の短所を指摘できる。	思・判 技・表	55.0	72.1
	(3)	時事問題から十和田湖を想起し、地図からその場所を指摘できる。	思・判 技・表	60.0	66.9		
地理的分野 (2)ア	4	(1)	縮尺を手がかりに、地図上の長さから実際の距離を求めることができる。	技・表 知・理	40.0	41.5	
		(2)	2万5千分の1の地形図に示された地域の様子を読み取ることができる。	技・表 知・理	65.0	68.6	
地理的分野 (2)ウ	5	(1)	資料から、世界の国々の人口の特徴を読み取ることができる。	技・表	60.0	52.2	
		(2)	資料から、人口の上位3か国と日本を選択できる。	技・表	70.0	85.8	
歴史的分野 (1)ア	6	(1)	歴史の移り変わりについて、それぞれの時代にあった人物を選択できる。	知・理	75.0	75.4	
歴史的分野 (2)エ		(2)	資料から、多様な立場の人の歌をまとめた「万葉集」であることを指摘できる。	技・表 知・理	70.0	40.0	
歴史的分野 (3)イ		(3)	資料から、平安時代末期の浄土信仰を指摘できる。	技・表	70.0	54.2	
		(4)	室町時代の代表的な作品を、資料から選択できる。	技・表	75.0	33.9	
歴史的分野 (2)ア	7	(1)	資料から、縄文時代の特色について、その内容を理解している。	知・理	70.0	27.3	
歴史的分野 (2)イ		(2)	資料から、古墳時代に渡来人が日本に伝えたものについて理解している。	知・理 思・判	60.0	39.7	
歴史的分野 (2)ウ		(3)	資料から、聖徳太子の十七条の憲法の目的について指摘できる。	知・理 思・判	70.0	71.7	
		(4)	資料から、藤原氏が勢力をもった要因について説明できる。	思・判 技・表	50.0	53.8	
歴史的分野 (3)ア	8	(1)	資料から、そのできごとの時代とその内容を指摘できる。	知・理 技・表	55.0	44.6	
歴史的分野 (3)イ		(2)	室町時代の農村のしくみの名称を理解している。	知・理	55.0	34.1	
歴史的分野 (3)ア		(3)	室町時代の下剋上について簡単に説明できる。	技・表	60.0	58.7	
歴史的分野 (4)ア		(4)	資料から、キリスト教を伝えた人物の名前を理解している。	知・理	80.0	97.3	
歴史的分野 (4)イ		(5)	秀吉が行った政策を、資料から指摘できる。	技・表	75.0	82.3	
歴史的分野 (4)ウ	9	(1)	江戸時代の対外関係を理解している。	知・理	60.0	42.2	
歴史的分野 (4)オ		(2)	①	江戸幕府の改革の背景を理解している。	思・判 技・表	55.0	55.7
			②	改革の内容をもとに天保の改革の結果を指摘できる。	思・判	40.0	27.1

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		設定 通過率	東青管内			西北管内				
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡		
1	(1)	北緯40°の緯線が通る国の指摘	65.0	75.7	75.9	72.2	67.8	69.5	65.2	67.6	
	(2)	六大陸の位置と名称	65.0	85.5	85.0	92.0	85.2	87.2	78.1	87.1	
	(3)	①	日本とロサンゼルスの時差	65.0	54.1	54.0	55.1	49.7	49.1	46.7	51.6
		②	ロサンゼルスの日時の計算	25.0	36.2	35.9	41.7	31.2	29.4	33.5	31.5
2	(1)	府県名と府県庁所在地名が異なる府県	60.0	34.1	34.3	31.0	28.7	28.7	29.8	28.1	
	(2)	日本海側の気候の特徴	55.0	42.0	42.2	39.6	38.1	37.4	36.7	39.5	
3	(1)	青森県のおもな発電所の立地	60.0	48.5	48.2	52.9	34.9	33.7	32.0	38.3	
	(2)	長所	55.0	58.4	59.8	38.0	50.6	53.2	57.3	43.3	
		短所	55.0	72.7	73.0	67.9	70.0	72.8	71.2	65.8	
	(3)	十和田湖の場所	60.0	67.2	66.6	75.4	63.1	62.8	58.6	65.5	
4	(1)	地図上の長さから実際の距離を求める	40.0	44.6	44.9	40.6	48.4	57.6	49.2	40.1	
	(2)	地形図から地域の様子の読取	65.0	71.3	71.5	68.4	69.4	67.5	71.5	69.9	
5	(1)	世界の国々の人口の特徴	60.0	53.5	53.7	49.7	54.1	56.0	52.4	53.4	
	(2)	人口の上位3か国と日本の見分け	70.0	88.0	88.0	87.7	86.4	85.6	86.5	87.1	
6	(1)	それぞれの時代にあった人物の選択	75.0	78.1	77.9	81.3	74.8	75.3	74.9	74.3	
	(2)	「万葉集」であることの指摘	70.0	44.7	44.5	48.7	32.9	36.8	40.8	25.6	
	(3)	平安時代末期の浄土信仰の理解	70.0	61.9	62.4	54.5	37.4	37.0	48.9	32.0	
	(4)	室町時代の代表的な作品	75.0	38.0	38.2	34.8	29.5	32.3	24.8	29.3	
7	(1)	縄文時代の特色	70.0	32.6	32.8	29.4	24.2	24.9	31.7	19.8	
	(2)	古墳時代に渡来人が日本に伝えたもの	60.0	47.0	47.4	40.1	32.2	26.7	37.0	34.6	
	(3)	十七条の憲法の目的	70.0	77.4	77.4	76.5	66.4	64.3	70.5	66.3	
	(4)	藤原氏が勢力をもった要因	50.0	58.6	59.4	46.5	57.5	60.5	54.5	56.3	
8	(1)	そのできごとの時代とその内容	55.0	49.3	49.5	46.0	40.0	42.1	38.6	39.0	
	(2)	室町時代の農村のしくみ	55.0	38.9	39.2	34.8	32.1	32.3	33.9	31.0	
	(3)	室町時代の下剋上の意味	60.0	63.9	64.7	52.4	56.6	52.7	55.8	60.4	
	(4)	キリスト教を伝えた人物	80.0	97.7	97.6	98.9	97.4	96.2	98.4	98.0	
	(5)	秀吉が行った政策	75.0	85.3	85.1	88.2	80.6	77.4	85.3	81.1	
9	(1)	江戸時代の対外関係	60.0	47.2	47.5	42.2	38.6	44.4	37.6	34.0	
	(2)	①	江戸幕府の改革の背景	55.0	60.2	60.5	55.6	51.1	52.7	53.0	48.8
		②	天保の改革の結果	40.0	29.1	29.3	25.1	26.3	29.2	21.6	26.1
教科全体			60.7	58.1	58.2	55.6	51.9	52.5	52.6	50.9	

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
69.8	72.0	62.6	68.0	68.9	66.2	72.7	63.8	62.2	62.1	62.3	61.6	72.0	73.4	67.4	70.3
80.2	81.1	79.9	74.2	82.2	81.0	84.5	86.8	75.6	86.2	86.5	85.2	87.9	87.4	89.4	84.3
40.8	41.9	32.2	36.3	48.9	44.7	56.5	45.9	35.1	34.3	31.9	41.4	49.5	48.3	53.8	47.2
24.6	26.8	19.8	18.3	25.8	28.9	37.9	30.9	21.1	20.9	18.6	27.6	31.3	30.5	34.0	30.1
29.0	29.2	30.2	25.5	30.8	31.9	33.8	34.0	29.5	27.2	26.9	28.1	33.2	32.4	35.8	31.5
38.8	41.1	30.6	30.7	41.5	37.9	42.5	33.6	36.3	36.7	37.5	34.5	42.3	42.7	41.0	40.0
41.1	42.9	36.5	37.0	41.7	47.5	46.2	44.1	50.0	62.4	62.3	62.6	43.0	44.0	39.4	45.0
58.8	66.2	39.7	65.8	39.8	55.4	59.5	49.7	55.5	44.5	45.1	42.9	51.4	52.2	48.8	54.4
76.2	79.7	65.6	76.4	71.3	72.3	79.2	72.9	67.7	55.3	55.6	54.7	74.1	74.2	73.7	72.1
64.6	63.5	64.7	68.6	65.5	68.4	69.2	67.1	68.5	62.9	61.5	67.0	70.3	69.9	71.8	66.9
33.4	36.6	24.4	28.3	33.5	41.3	49.9	41.4	34.6	35.1	35.8	33.0	43.4	41.8	48.7	41.5
67.8	69.4	66.1	63.0	67.1	66.7	73.1	64.0	62.9	63.0	64.4	59.1	69.1	68.9	69.7	68.6
50.2	50.4	47.7	48.3	53.8	52.2	56.4	51.7	49.2	45.4	47.0	40.9	53.5	53.8	52.3	52.2
85.5	86.1	84.5	86.7	82.5	83.0	85.5	87.2	79.1	81.6	82.8	78.3	86.9	87.6	83.6	85.8
71.8	71.7	66.7	72.7	76.6	76.7	80.0	76.7	74.0	68.1	69.6	63.5	76.9	77.2	75.9	75.4
33.0	31.2	31.0	40.4	35.7	33.8	42.8	28.2	29.4	35.5	34.5	38.4	49.9	48.0	56.4	40.0
50.0	51.9	38.8	52.5	51.1	55.4	63.5	51.9	50.7	45.7	43.8	51.2	59.8	56.5	71.1	54.2
30.2	33.2	24.1	26.7	26.2	34.6	42.9	31.8	29.5	23.9	24.0	23.6	37.3	36.8	39.1	33.9
23.8	24.7	24.1	16.8	25.8	26.1	30.8	26.0	22.5	21.8	22.5	19.7	29.1	29.7	27.2	27.3
37.3	38.0	34.8	34.5	40.0	39.1	49.6	36.5	32.2	33.6	35.1	29.1	40.4	39.8	42.2	39.7
67.3	67.1	71.0	70.2	61.8	69.9	75.5	71.8	64.5	65.9	65.9	66.0	75.3	74.3	78.6	71.7
44.9	45.6	33.9	47.2	51.4	57.3	69.7	55.3	48.7	43.3	43.4	42.9	55.1	54.6	56.8	53.8
44.2	46.1	35.6	43.2	45.8	43.6	47.1	43.2	41.1	34.3	35.3	31.5	46.0	46.6	44.0	44.6
32.3	33.8	25.0	32.3	33.2	31.6	33.6	30.2	30.8	28.9	30.1	25.6	34.9	34.2	37.0	34.1
54.5	56.1	40.5	59.0	58.2	59.8	69.4	50.8	56.6	49.9	53.4	39.9	59.6	57.9	65.4	58.7
97.5	97.7	97.1	97.2	97.5	97.7	98.8	96.9	97.2	93.8	94.9	90.6	97.3	97.4	97.0	97.3
79.1	77.9	84.8	78.9	78.5	83.9	88.9	77.6	82.9	76.4	77.0	74.4	83.5	84.0	81.6	82.3
39.7	42.4	31.9	37.9	37.5	43.9	51.6	38.7	40.4	33.8	32.9	36.4	42.3	43.0	39.8	42.2
54.1	53.1	41.7	61.2	64.9	60.4	70.1	54.6	55.6	36.3	35.6	38.5	56.6	57.9	52.0	55.7
26.4	28.3	17.5	28.0	25.8	27.0	28.4	22.8	27.9	24.1	23.0	27.8	27.0	25.9	30.6	27.1
51.3	52.4	46.1	50.8	52.1	53.9	59.6	52.2	50.4	47.8	48.0	47.3	55.9	55.7	56.7	54.2

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域の 通過率(%)	設定通過率 (%)
世界と日本の 地域構成	6	1(1)、1(2)	1(3)②、2(1)、 2(2)	50.6	55.8
地域の規模に 応じた調査	8	3(2)短所、3(3)、 4(2)、5(2)	4(1)	60.8	58.1
歴史の流れと 地域の歴史	1	6(1)		75.4	75.0
古代までの日 本	6	7(3)	6(2)、7(1)、 7(2)	47.8	65.0
中世の日本	4		6(4)、8(2)	42.8	61.3
近世の日本	5	8(4)、8(5)	9(2)②	60.9	62.0

内容・領域別にみると、通過率の高かったのは、「地域の規模に応じた調査」、「歴史の流れと地域の歴史」、「近世の日本」である。

通過率の低かったのは、「古代までの日本」、「中世の日本」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったものはなく、同程度だったのは、「地域の規模に応じた調査」、「歴史の流れと地域の歴史」、「近世の日本」、下回ったのは、「世界と日本の地域構成」、「古代までの日本」、「中世の日本」である。

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(15問)	通過率の低かった 問題(15問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な 思考・判断	9	3(2)短所、3(3)、 7(3)	1(3)②、7(2)、 9(2)②	52.1	52.2
資料活用の 技能・表現	20	1(1)、3(2)短所、 3(3)、4(2)、 5(2)、8(5)	2(1)、2(2)、 4(1)、6(2)、 6(4)	54.9	61.0
社会的事象に ついての知識 ・理解	16	1(1)、1(2)、 4(2)、6(1)、 7(3)、8(4)	2(1)、2(2)、 4(1)、6(2)、 7(1)、7(2)、 8(2)	53.5	63.1

観点別にみると、いずれの観点も通過率に大きな違いはみられない。

設定通過率と比較すると、「社会的な思考・判断」は同程度であり、「資料活用の技能・表現」と「社会的事象についての知識・理解」では、これを下回っている。

なお、中学校社会科の場合、小問の評価の観点が複数あるものが多く、各観点の通過率は、互いの通過率に影響を与えている。

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)	
1	(3)①	47.2	65.0	ア(19.5)、ウ(18.0)、イ(14.5)、無答(1.5)
2	(1)	31.5	60.0	ア(35.0)、エ(22.0)、イ(10.0)
3	(1)	45.0	60.0	エ(21.0)、ア(18.0)、ウ(12.5)、無答(1.5)
6	(4)	33.9	75.0	イ(17.5)、エ(15.0)、ウ(9.5)、無答(1.5)
7	(1)	27.3	70.0	ウ(39.5)、イ(20.0)、エ(12.0)
8	(2)	34.1	55.0	ア(28.0)、ウ(23.5)、イ(17.5)、無答(0.5)
9	(2)②	27.1	40.0	イ(34.0)、ウ(27.0)、エ(12.0)、無答(0.5)

- 1(3)①について
誤答の原因として、一般的に時差を問う問題として多く出題される、日本とロンドンの9時間、日本とニューヨークの14時間と混同していることが考えられる。
- 2(1)について
誤答の原因として、兵庫県・神戸市の名称と位置についての理解が不十分であることが考えられる。
- 3(1)について
誤答の原因として、社会科副読本が十分活用されていないことが考えられる。
- 6(4)について
誤答の原因として、各時代の文化の代表的な作品と時代区分についての関連の定着が不十分であることが考えられる。
- 7(1)について
誤答の原因として、今年国宝に指定された八戸市是川遺跡の合掌土偶が、縄文時代の遺跡であることの理解が不十分であることが考えられる。
- 8(2)について
誤答の原因として、室町時代の農村のしくみである「惣」についての理解が不十分であることなどが考えられる。
- 9(2)②について
誤答の原因として、江戸時代の三つの改革に関係する人物とその内容についての把握が不十分であることが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題として、地理的分野では、「世界と日本の地域構成」における「ア世界の地域構成」の時差の定着が挙げられる。

今後の学習指導においては、地球を大観させ、地球的規模での位置関係をとらえる基礎的な技能や知識を身に付けさせるために、

- ① 地球儀や様々な世界地図が掲載されている地図帳等の適切な活用方法を身に付けさせる。(太平洋を中心とした世界地図、本初子午線を中心とした世界地図等)

- ② 緯度や経度、本初子午線、日付変更線などが現状のように決まった背景を取り上げる等、生徒の関心を引き出す指導の工夫。
- ③ 新聞記事やニュース等の国際的な話題を取り上げ、生活場面と関連付けて扱う工夫。

などが大切である。

指導例 「時差」の指導について

(1) 時差に関する問題と解答を難易度を設けて生徒に3題つくらせる。

① 東経（西経）どうしの2地点間の時差を求める。

(例) シドニーとマニラの時差は何時間ですか。

② 東経と西経と、異なる2地点間の時差を求める。

(例) イスタンブールとサンフランシスコの時差は何時間ですか。

③ ①のような場合の、ある地点の日時をもとに、別な地点の日時を求める。

(例) マニラが2月17日午後3時のとき、ウィーンは何月何日何時ですか。

④ ②のような場合の、ある地点の日時をもとに、別な地点の日時を求める。

(例) シドニーが12月25日午後2時のとき、ニューヨークは何月何日何時ですか。

⑤ ④に航空機での移動時間を加えて日時を求める。

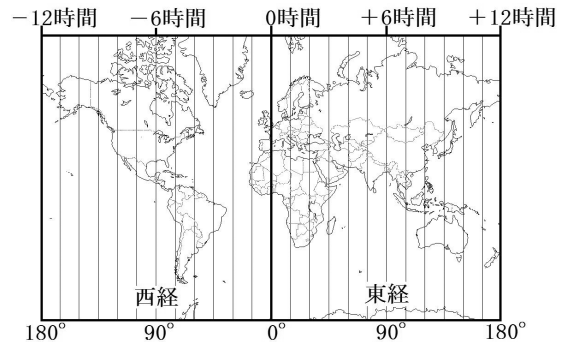
(例) 12月20日午後4時に日本を出発した飛行機が9時間後にサンフランシスコに到着したときの日時は何月何日の何時ですか。

《参考》成田国際空港から主な都市への飛行時間
(計算しやすく飛行時間を調整している。)

都市名	標準時子午線	飛行時間
シドニー	東経150°	約10時間
マニラ	東経120°	約5時間
ジャカルタ	東経105°	約8時間
イスタンブール	東経30°	約12時間
カイロ	東経30°	約13時間
ウィーン	東経15°	約12時間
ロンドン	0°	約13時間
ニューヨーク	西経75°	約13時間
サンフランシスコ	西経120°	約9時間

(2) グループ内でインタビューしながらお互いどこにいるのかを考えさせる。

(例) 日本が4月25日午前9時のとき、現在自分がいる（と仮定する）都市を教師が提示した候補の中から一つ決め、インタビュー



《参考》数学科での時差の扱いの例

4 正負の数の利用

●……正負の数を利用して、身のまわりの問題を考えてみよう。

右の図は、東京を基準にして、各都市との時差を示したものである。時差はこの図のように正負の数で表される。この図から、ウェリントンの時刻は東京の時刻に3時間加えたものであり、ロンドンの時刻は東京の時刻から9時間ひいたものであることがわかる。たとえば、東京が21時だとすると、そのときロンドンは、9時間前の12時である。



問1 東京が15時のとき、次の都市の時刻をそれぞれ求めなさい。

- ① ウェリントン
- ② ロンドン
- ③ ニューヨーク

例1 ロンドンとシドニーの時差を考えてみよう。

東京を基準にして考えると

ロンドンとの時差は -9 時間
シドニーとの時差は $+10$ 時間

である。したがって、ロンドンとシドニーの時差は、ロンドンを基準にして考えると

$$(+10) - (-9) = +19$$

で、 $+19$ 時間である。

問2 ロンドンとベキンの時差は、ロンドンを基準にすると何時間ですか。

しあうことで相手がいる都市を考えるゲームを行う。

Q1 あなたがいる都市とロンドンとの時差は何時間ですか。

(Aくん：10時間、Bさん：7時間、Cさん：5時間、Dさん：8時間)

Q2 あなたがいる都市は、今、何月何日の何時ですか。

(Aくん：4月25日午前10時、Bさん：4月25日午前7時、Cさん：4月24日午後7時、
Dくん：4月24日午後4時)

Q3 あなたがいる都市の季節は何ですか。

(Aくん：秋、Bさん：夏、Cさん：春、Dくん：春)

Q4 あなたがいる都市は首都ですか。

(Aくん：いいえ、Bさん：はい、Cさん：いいえ、Dくん：いいえ)

[答え] Aくん (シドニー)、Bさん (ジャカルタ)、Cさん (ニューヨーク)、
Dくん (サンフランシスコ)

また、**3**の青森県の発電所の問題では、現地に即した諸資料を活用し、地域的特色という観点から、多面的・多角的に分析、考察、地図化等をしてまとめる活動を展開することが大切である。

歴史的分野における課題としては、資料を用いて各時代の特色をとらえさせるための指導の工夫と基礎的・基本的な内容の定着が挙げられる。

今後の学習指導においては、

- ① 絵画資料や条文等の様々な資料から必要な事実を読み取り、その因果関係や意味を考察する「問題解決的な学習」の展開。
- ② 各時代のキーワードとなる人物や事柄を調べたり、歴史的事象を年表等にまとめたりする「作業的な学習」の展開。

などの活動を取り入れることが大切である。

評価の観点別にみた課題として、「社会的な思考・判断」については、社会的事象に関心を持たせる手立てを工夫しながら、学習課題を多面的・多角的にとらえる能力の伸長が挙げられる。

今後の学習指導においては、課題解決のために有効な資料等を提示し、十分に読み取りを行い、グループ等による話し合い活動や練り合いを通し、事実や資料等を相互に関連づけながら、予想させたり見通しをもって考察させるなど、段階に応じた場面を設定していくことが大切である。

「資料活用の技能・表現」の課題としては、社会的事象の認識を深化できるような統計資料の読み取りや読図などの基本的な技能を身に付けさせ、また、読み取ったことからまとめ発表する力を育成することが挙げられる。

今後の学習指導においては、地図や地球儀、写真や統計資料等の情報を読み取ったり、活用する場の設定をして、系統的に学習できる工夫をしたり、社会的事象を解釈、説明、論述するなどの言語活動の充実を図ることが大切である。

「社会的事象についての知識・理解」の課題としては、各観点との関連を図り、身に付けた知識や概念を活用できるようにすることが挙げられる。

今後の学習指導においては、作業的、体験的な活動を学習過程の中に位置づけ、習得した知識や技能を活用し、自己決定の場を設けたり、他分野との関連を図ることができるよう授業の展開を行うことが大切である。

個々の問題の誤答傾向から見た課題として、地理的分野においては、統計資料等の活用能力の伸長と都道府県の構成と地域区分の地理的特色の把握が挙げられる。

今後の学習指導においては、都道府県及び都道府県庁所在地の位置と名称を白地図等を用いて習得させたり、繰り返し学習ができるよう学習機会を適宜設定し、計画的に指導することが必要である。また、気候や土地利用などの主題図を活用し、様々な事例を比較するなどの作業的な活動を取り入れた授業を展開することが大切である。

歴史的分野においては、各時代の生活の様子や文化等の特色を理解させる活動の充実が挙げられる。

今後の学習指導においては、各時代の人々の生活や文化、貿易や政治のしくみ等に注目させ、他の時代との相違点や共通点を明らかにし、それらに関連づけて理解させることが大切である。

設定通過率との比較からみた課題としては、資料からの読み取りと基礎的・基本的な内容の定着が挙げられる。設定通過率を25ポイント以上回った小問が4問ある。

- ① 府県名と府県庁所在地名が異なる府県を問う問題。
- ② 多様な立場の人の歌をまとめた歌集（万葉集）であることを問う問題。
- ③ 室町時代の代表的な作品を選択し、時代を問う問題。
- ④ 縄文時代の特色を問う問題。

であり、設定通過率が60～75%であるのに対して、通過率は27.3～40.0%であった。

①は、地図から府県名と府県庁所在地名が同じである組み合わせを確認するための小問であったが、分析の結果から、誤答の主な原因が名称と位置についての理解が不十分であることが考えられる。また、②、③、④は資料活用を確認するための小問であったが、分析の結果から、誤答の主な原因は、資料から各時代の特色をとらえさせる技能・表現や知識・理解が十分に定着していないことが考えられる。

今後の学習指導において、地理的分野では、都道府県及び都道府県庁所在地の位置と名称を白地図等を用いて習得させたり、繰り返し確認して知識の定着を図るなど、計画的に指導する必要がある。また、歴史的分野では、各時代の生活や文化等の特色を理解させるとともに、資料から他の時代との相違点や共通点を挙げさせるなどの指導の工夫が必要である。

キ まとめ

内容・領域別では、地理的分野の「地球の規模に応じた調査」、歴史的分野の「歴史の流れと地域の歴史」、「近世の日本」が良好である。一方、歴史的分野の「古代までの日本」、「中世の日本」の問題で不十分な点がみられる。また、評価の観点別でも、「資料活用の技能・表現」、「社会的事象についての知識・理解」の問題で不十分な点がみられ、特に、社会的事象の認識を深化できるような統計資料の読み取りや読図などの技能を身に付けさせ、また、読み取ったことからまとめ発表する力を育成することが必要である。また、小問ごとに見ると、歴史的分野において、江戸時代の三つの改革に関係する人物とその内容についての把握ができていない点がみられた。

今後の指導においては、基礎的・基本的内容となる知識（概念等を含む）の定着を図るとともに、地図や地球儀、写真や統計資料等の情報を読み取ったり、活用する場の設定をして、系統的に学習できる工夫をしたり、社会的事象を解釈、説明、論述するなどの言語活動の充実が求められる。また、作業的、体験的な活動を学習過程の中に位置付け、習得した知識や技能を活用し、自己決定の場を設けたり、他教科や他分野との関連を図るような授業の展開を工夫することも大切である。